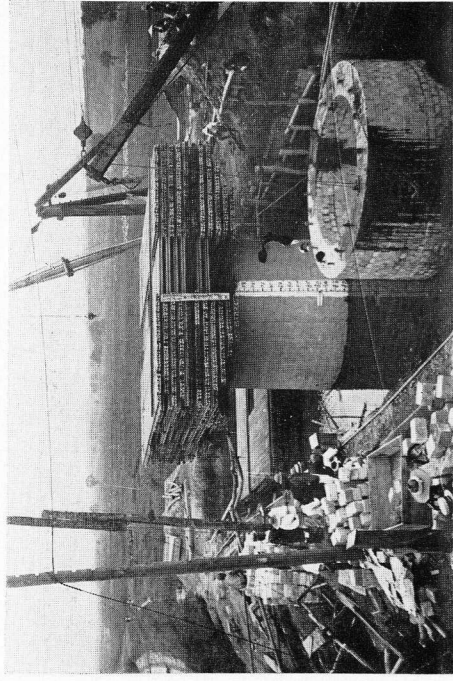


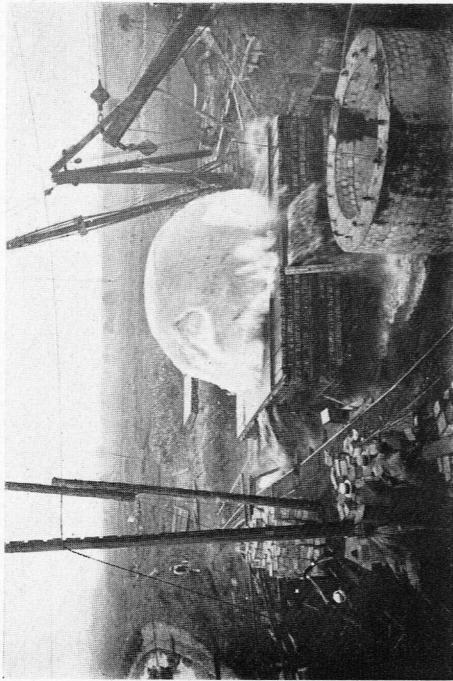
321

旅客線 200 呎用第 17 號橋脚
非筒の機械的沈下法にて非筒沈下機と言ふ特殊の機械を用ひ徐々に間断なく行ふものであつて、此の方法に依るときは全く筒との關係なく極めて速かに沈下を行ひ得るものである



322

貨物線 200 呎用第 20 號橋脚
橋脚基礎非筒注水沈下法と稱す、非筒壁コンクリートを豫定の高きに施工し、終りに硬化を待つて豫定の荷重を負荷し非筒内に注水して沈下を行ふのであつて、中央非筒上にコンクリートを注水せしめて沈下し非筒内に注水せざる状態である、後方にあるものは此の方法により沈下し直後の状態、前方にあるものはコンクリート工を了へ硬化を待ちつゝある状態である



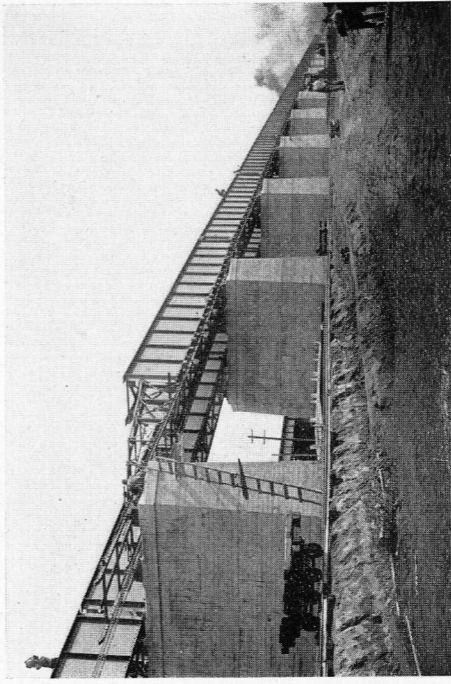
323

貨物線 200 呎用第 20 號橋脚
非筒注水沈下法により非筒が沈下しつゝある状態である、沈下に要せし荷重はレール 587 噸、非筒自重（地上）135 噸、計 722 噸、沈下せし深さは 15.06 呎、地中に没せし深さ 87.3 呎、注水非筒頂部に遊してより約 20 分にて沈下せり



324

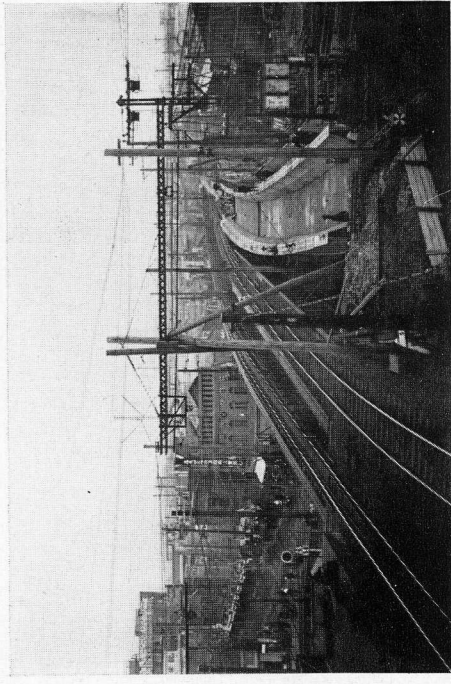
舊橋梁 100 呎構桁撤去
複線式 100 呎構桁の撤去状況、兩岸に水面上 80 呎の鐵塔を建て、塔に 2 條の鋼索條を張架し、之に 2 組の滑車及ブロックを用ひ、之に構桁（重量約 27 噸）を吊り、後方に引出し軌道上に豫め用意せるトロロリー上にとり撤去するものなり



325

貨物線 鋼桁架設
鋼桁連結法と稱し、鋼桁をヒンチにて連結して一群となし、其の先端に手延器を附し鋼桁の下面にはヒンチ面を設け別に橋脚上面及後方地面上にもヒンチ面を設け、前して兩ヒンチ間の間に徑 2 吋の丸鋼を差し入れ、前方に鋼桁群を引出し架設するものなり

中央本線萬世橋曲線下路鋼桁



326

右より第一線 組立及防水工完成せる處、第二線 舊上り線、第三線 舊線